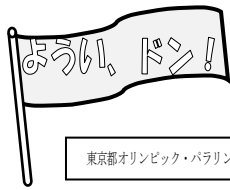


第3学年道徳学習指導案



平成28年10月28日(水)5校時
武蔵村山市立第三小学校
第3学年1組35名
主任教諭 北原 彰

研究主題

「人との関わりを大切にし、豊かに表現できる児童の育成」
～グローバル人材育成に向けたオリンピック・パラリンピック教育の充実～

1 主題名

最後まであきらめない 1ー(2) 勤勉・粘り強さ

2 資料名

「ワンダフル・ヒトミー人見 絹枝」「心しなやかに」(東京都教育委員会) p.54-61

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

1 主として自分自身に関すること

(2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。

児童が自立し、よりよく生きていくためには、自分がやらなければならないことは最後まであきらめずにしっかりとやり抜くことが大切である。そのためには、日頃から何事にも粘り強く取り組み、努力し続けようとする姿勢が求められる。そして、よりよい自己を実現しようとする向上心と結び付けることにより、前向きな自己の生き方が自覚されてくるといえる。児童がより高い目標を立てたり、夢や希望を掲げたりして、その達成や実現への志をもって粘り強く取り組むことができるようにすることが重要になる。

この段階においては、自分がやらなければならないことだけではなく、自主性を発揮し、自分でやろうと決めたことに対しても積極的に取り組み、粘り強くやり遂げる心情を育てることが大切になる。そのためには、あきらめずに取り組むことの大切さや、今よりよくなりたいと願い、努力しようとする姿について考えを深めていくことが求められる。そのためには、日頃から教師が児童を励まし、児童自身が成長する喜びや努力の大切さを感じられるように粘り強く指導していくことが必要である。

(2) 児童について

本学級は、明るく元気の良い児童が多い。友達のことを大切にし、親切にしようとする態度が見られる。一方で、自分から目標を見つけたり、目標を見付けても最後まで努力を続けることができずに、諦めたり、自分にはできないと考えてしまったりする児童も多くみられる。また、自分は勉強や運動が不得意だと思い込み、自分に自信が持てない児童も見られる。今回は国内女性初のオリンピックメダリストの「人見絹枝」を取り上げ、目標に向かってあきらめずに努力を続けることの大切さに気付かせたい。

(3) 資料について

人見絹枝は努力を積み重ね、念願であるアムステルダムオリンピック出場選手となった。意気揚々として出場するが、自分の出場種目である100m走で決勝に進めず落胆してしまう。

しかし、あきらめずに800m走に出場し、決勝では今までの練習の成果を出し切り第2位でゴールを駆け抜けた。オリンピックでメダルを獲得するという絹枝の悲願は達成された。

本資料を通じて、困難があっても諦めずに、粘り強く努力していくことの大切さ、また、自分の目標をもち、やろうと決めたことは、諦めずに取り組み、粘り強くやり遂げることの大切さについて考えさせていく。

4 研究主題に迫る手だて

(1) 研究仮説

〔仮説1〕オリンピック・パラリンピック教育の視点から授業の充実を図ることが、児童の視野を広げ、グローバルな社会を生きる人材となる素地を養うことに繋がるであろう。

〔仮説2〕児童一人一人が分かる授業を展開するために授業作りに授業のユニバーサルデザイン化の手法を取り入れ、ねらいの達成から逆算した授業作りを行えば、児童の学習意欲や主体的に学ぶ態度、豊かな表現力を養うことができるであろう。

(2) 目指す児童像

高学年	自他のよさを認め、主体的に相手と関わり合いながら、表現活動を工夫したり、自己の最善を尽くしたりすることができる児童。
中学年	自他のよさを感じ、相手との関わり合いを通して、目標に向かって、主体的に表現できる児童。
低学年	自分のよさを感じ、相手との関わりを大切に、楽しく表現することができる児童。

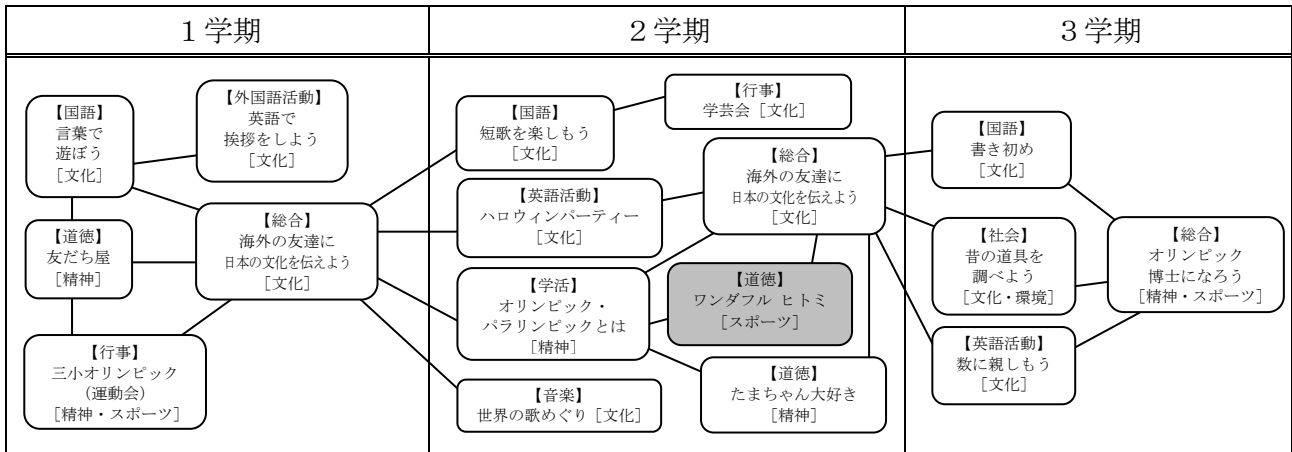
(3) 本単元におけるオリンピック・パラリンピック教育理念との関連

重点的に育成する五つの資質		4つのテーマ×4つのアクション（本時）
スポーツ志向	スポーツへの興味関心 フェアプレーやチームワークの精神 心身ともに健全な人間に成長	スポーツ×学ぶ

※本資料では、道徳の学習を通し、オリンピック・パラリンピック教育4つのテーマのうち、「スポーツ」に関わる学習、アクションは「学ぶ」と設定した。その他には、外国語活動、アスリートによる体験教室や留学生との交流、百人一首や暑中見舞い、年賀状の書き方を学ぶなどの伝統文化的学習やパブリカなどの栽培活動を行って環境に関する学習も行う。年間を通して、オリンピック・パラリンピック教育実施方針に沿った活動を意識して設定する。

(4) 他単元及び他教科の関連（他教科・他領域や日常的な指導等との関連）

中学年の目指す児童像「自他のよさを感じ、相手との関わり合いを通して、目標に向かって、主体的に活動できる児童」の実現ため、この資料の学習は、下表のような教科横断的な取組の一つとする。



目指す児童像に迫るためには、道徳の時間を要として、各教科、総合の時間や特別活動などの教育活動と関連させ、日頃から自らの目標をもち、粘り強く取り組んでいくことの大切さに気付かせていきたい。そのために、日頃の授業や生活の中で、児童に成功体験を積みませ、粘り強さや継続的に努力していくことが成長する喜びにつながることを体験させていきたい。各教科や総合の時間、特別活動と道徳教育との関連を意識して、道徳の時間で補充、深化、統合を図っていきたい。

(5) 本時の指導におけるユニバーサルデザインの視点について

本時の授業計画の組み立て（ねらいの達成から逆算）

授業展開	活動の様子	授業のユニバーサルデザイン視点
ねらいの達成 展開後段 ↓	目標に粘り強く取り組むことについて、自分自身を振り返る。	①ワークシート「心のアルバム」を活用し、児童が自分の意見を考えたり、自分自身の体験や行動を振り返ったりできるようにする。【焦点化】
展開前段 ↓	資料「ワンダフル・ヒトミ」の範読を聞き、絹枝の気持ちを話合う。	①発問や主発問に対応する場面絵を掲示し、場面をイメージさせることで自分の考えをもたせやすくさせる。【視覚化】 ②主発問で、ねらいとする価値に迫り、児童の考えを深めさせるためにペアや全体で話し合いを行う。【共有化】
授業の導入	人見絹枝について知る。	①100m走や走り幅跳びの元世界記録保持者であることを伝え、人見絹枝に対する興味・関心を抱かせる。
個別支援	自分の体験と資料を結びつけられず、文章が書けない。	①個別に言葉掛けを行い、具体的な場面を想起させる。 ②授業や運動会などの行事、休み時間、放課後などの具体的な場面を伝え、粘り強くやり遂げたことを思い出させる。

5 本時の学習

(1) 本時の目標

自分でやろうと決めたことは、あきらめずに取り組み、粘り強くやり遂げる心情を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動 □発問、説明 ・予想される反応	●指導上の留意点 ◆個別の配慮 ◎評価【観点】(方法)	☆ユニバーサルデザインの視点
導入 5分	1 リオオリンピック、パラリンピックの話の聞く。 日本初の女性オリンピック選手の人見絹枝さんを紹介しします。	●100m走や走り幅跳びの元世界記録保持者であることを伝え、資料の時代背景や社会状況について説明する。	【焦点化】
	2 本時のめあてを知る。		
展開 37分	3 資料「ワンダフル・ヒトミ—人見絹枝—」を読んで話し合う。 新聞記者でもある絹枝選手が、夜も練習し努力したのは、どのような思いからでしょうか。	●電子黒板を用いて写真を提示する。 ●何としてもオリンピックに出たい、すばらしい記録を出してメダルをとりたいという絹枝の強い思いを場面絵で振り返りながら捉えさせる。	【視覚化】
	・オリンピックに出たい。 ・すばらしい記録を出して、メダルをとりたい。		
	100m走決勝レースに残ることができなかった絹枝は、どんな気持ちになったのでしょうか。	●100m走で決勝に進めなかったときの絹枝の思いに着目させ、そこから800m走への出場を決心するまでの心情の変化を捉えさせる。 ●児童の考えを深めさせるためにペアや全体で話し合いを行う。	【焦点化】
	・今までの努力を無駄にしたくない。 ・自分で決めたことなのだから最後まであきらめない。		
	銀メダルを手に入れた絹枝は、どのような気持ちで国旗を見つめていたのでしょうか。	●話し合い活動を通して、絹枝の達成感を捉えさせ、努力し続けることの大切さに気付かせる。	【共有化】
	・あきらめず頑張ってよかった。 ・自分で決めたことを最後までやり遂げられてよかった。		
	4 自分の生活について振り返る。 自分でやろうと決めたことを粘り強くやり遂げたことはありますか。そのとき、どのような気持ちでしたか。	●児童が本時の話し合いから道徳的価値を自分のものとして捉えられるようワークシートに記述させる。 ◆具体的な場面を伝え、粘り強くやり遂げたことを思い出させる。 ◎自分でやろうと決めたことに、あきらめずに取り組み、粘り強くやり遂げていこうとする意欲をもつことができる。(観察、ワークシート)	【焦点化】
	・運動会の100m走で、去年よりよい順位がとれるように練習して、今年は、1位になることができ、がんばってよかったと思った。		

終末 3分	5 リオオリンピック・パラリンピックの日本人選手の活躍についての説話を聞き、本時を振り返る。	●ねらいとする道徳的価値について、心情を深める。
----------	--	--------------------------

6 板書計画

ワンダフル・ヒトミー人見 絹枝

絹枝の
写真

人見 絹枝

絹枝の気持ち

場面絵③

銀メダルを手に入れた絹枝は、どのような気持ちで国旗を見つめていたのでしょうか。

- ・あきらめずがんばってよかった。
- ・自分で決めたことを最後までやりとげられてよかった。

場面絵②

100m走決勝レースにのこることができなかった絹枝は、どんな気持ちになったでしょうか。

- ・今までの努力をむだにしたくない。
- ・自分で決めたことなのだから最後まであきらめない。

場面絵①

新聞記者でもある絹枝選手が、夜も練習し努力したのは、どのような思いからでしょうか。

- ・オリンピックに出たい。
- ・すばらしい記録を出して、メダルをとりたい。

ねばり強くやりとげることの大切さ

自分でやろうと決めたことをねばり強くやりとげたことはありますか。そのとき、どのような気持ちでしたか。

7 ワークシート

心のアルバム

「ワンダフル・ヒトミー人見 絹枝」

自分でやろうと決めたことをねばり強くやりとげたことはありますか。そのとき、どのような気持ちでしたか。

名前 ()